

**DocAve**<sup>®</sup>  
**Governance Automation**  
**SP6**

リリース ノート

リリース日: 2015 年 12 月 2 日

# Governance Automation SP6 へのアップデートについて

Governance Automation のアップデートを実行する場合は、[Governance Automation ユーザーガイド \(管理者用\) Governance Automation のアップデート](#) セクションに記載されたステップを参照してください。

以下のテーブルは、Governance Automation SP6 の新機能のうち重要な更新部分の情報です。

直接アップデートに必要な最低バージョン	Governance Automation SP6 への直接アップデートを実行するには、Governance Automation SP5 CU2 が必要となります。
使用可能な SharePoint バージョン	SharePoint 2013 Online / オンプレミス SharePoint 2010 Online / オンプレミス
その他 AvePoint 製品との依存関係	対応プラットフォーム バージョン間の互換表については、AvePoint ナレッジベース内 <a href="#">Governance Automation, DocAve, and SnapManager for SharePoint Support Matrix (英語)</a> を確認してください。
新規ライセンス要否	×
IIS リセット要否	×
マネージャー サーバーのリポート要否	×
エージェント サーバーのリポート要否	×
アップデート状況の確認方法	<p>Governance Automation のアップデートが正常に完了したかを確認する方法は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>DocAve アップデート マネージャー</b> を使用して Governance Automation をアップデートした場合: <b>DocAve コントロール パネル &gt; 更新マネージャー &gt; 履歴の表示</b> の順に進みます。Governance Automation のアップデートを選択し、<b>[詳細の表示]</b> をクリックすると、選択された Governance Automation サーバーに、アップデートが正常にインストールされているかどうかを確認することができます。</li><li>• <b>AvePoint 更新マネージャー</b> ツールを利用してアップデートを実行した場合: <b>AvePoint 更新マネージャー &gt; 履歴の表示 &gt; パッチ</b> の順に進みます。Governance Automation のアップデートの <b>アク</b></li></ul>

	<p>ション 列の <b>[履歴の表示]</b> をクリックすると、更新の <b>インストール履歴</b> インターフェイスが表示されます。<b>状態</b> 列を確認すると、該当する Governance Automation サーバーに、更新が正常にインストールされているかを確認することができます。</p>
--	--

# 新機能

## SharePoint Online

- サイトコレクション ライフサイクル サービスを使用して、SharePoint Online のサイト コレクションをアーカイブすることが可能になりました。
- SharePoint Online のサイト コレクションをアーカイブすることが可能になりました。
- SharePoint Online のオブジェクトに対し、ユーザーに一時アクセス権限を付与することが可能になりました。
- SharePoint Online に Governance Automation アプリおよびアプリ パーツを展開することが可能になりました。

## ライフサイクル管理

- IT 管理者がサイト コレクション ポリシーでサイト コレクションのリース期間延長を有効にする際、延長可能期間 (日・週・月・年単位で指定可能) および最大延長可能期間を指定することが可能になりました。
- **サイトのライフサイクル管理** サービスで、複数のサイトの消去・アーカイブを一括で実行可能にするかどうかを選択することが可能になりました。この機能が有効になっていると、サイトの消去もしくはアーカイブの際に、対象サイトの複数選択が可能になります。
- **条件付き洗い替え** 機能が使用可能になりました。条件付き洗い替えを有効にすると、**設定 > 洗い替えプロファイルの管理** から、カスタムの条件とアクションを含む実行可能ファイル・PowerShell スクリプト ファイル・アセンブリを使用して、カスタム洗い替えプロセスを開始することが可能になります。

## エンド ユーザー コンテンツ移行サービス

- ビジネス ユーザーが使用できる **コンテンツ移行サービス** を追加しました。コンテンツ移行サービスを使用することにより、異なるバージョンの SharePoint にコンテンツを移行することができます。

## 外部ワークフローの統合

- K2 Workflow を、Governance Automation の承認プロセスと統合することが可能になりました。

- Governance Automation Web API を利用したタスクの取得・実行が可能になりました。
- 承認プロセスのエスカレーション先として Activate Directory グループと SharePoint グループを選択することが可能になりました。

## テキストのディスプレイおよび正規表現の確認

- **設定** に、**Governance Automation 用語管理** が追加されました。この機能を使用すると、Governance Automation システム内の特定の用語をカスタマイズすることができます。カスタマイズが可能な用語は、**サイトコレクションのメイン連絡先・サイト コレクションのサブ連絡先・サイトのメイン連絡先・サイトのサブ連絡先** です。
- サイトのタイトルを、テキスト検証ルールで設定された正規表現に従って確認する **サイト タイトルの検証** 機能が追加されました。

## レポート作成

- **設定** に、**個人用サイト フィルターのカスタマイズ** 機能が追加されました。この機能を使用することにより、IT 管理者は **個人用サイト レポート** 内のサイト コレクションおよびサイトを、ユーザー ロールおよび **ユーザーまたはグループ** メタデータを使用してフィルターするために使用するカスタム フィルターを構成することができます。特定のサイト コレクション / サイトで、ログイン ユーザーが選択したユーザー ロールまたは **ユーザーまたはグループ** メタデータ値に合致する場合、このユーザーは **個人用サイト レポート** で、これらのサイト コレクション / サイトを表示することができます。

## その他のアップグレード

- **サイト コレクションの作成サービス** および **サイトの作成サービス** で、**DocAve 展開マネージャー プラン** を有効化することが可能になりました。
- Governance Automation SP5 CU2 から SP6. へのアップグレード ツールが使用可能になりました。DocAve\_Governance\_Automation\_SP6\_UpgradePackage.zip ファイルの中にある DocAve\_Governance\_Automation\_1.0\_SP6\_Upgrade\_Tool.zip が、該当のアップグレード ツールです。
- 承認プロセスで、メタデータ値を動的ロール (\$Site Collection Metadata ("メタデータ名"))、および \$Site Metadata ("メタデータ名")) として指定可能になりました。ここで使用できるメタデータは、サイト コレクションもしくはサイトに存在する **参照・人物・グループ** のいずれかである必要があります。こ

の値を入力すると、指定されたメタデータに合致する値を持つユーザーもしくはグループが、承認者として取得されます。

# バグ修正

- **設定 > メタデータ管理** で、SharePoint Online ユーザー プロファイル サービスからデータを取得する **参照** メタデータを作成する際、ユーザー プロファイルをシステム ロール / ユーザーまたはグループ メタデータから取得すると、**\$Requester** と **\$ManagerOfRequester** が使用不可となります。これは、SharePoint Online で AD もしくは ADFS を利用する際のユーザー マッピング要求に起因するものです。

**対処法:** ハイブリッド クラウドを使用する際には、オンプレミスの User Profile Service を使用することを推奨します。

- Governance Automation のサイドリンク バーの使用時に、ユーザー名とパスワードを再入力する必要があります。これは、ユーザーが Governance Automation と SharePoint サイト両方に対する権限を持っている場合でも実行する必要があります。

**対処法:** **インターネット オプション** で、Governance Automation と SharePoint のサイトを **信頼済みサイト** に追加します。

## 既知の問題

- SharePoint Online でサイト コレクションを作成する際に、管理パスをカスタマイズすることはできません。管理センターが移動元範囲として選択された場合、Governance Automation は移動元カスタム管理パスを処理することができません。コンテンツ移行サービスにマッピングを追加する際、Web アプリを移動元範囲、SharePoint Online 管理センターを移動先範囲として設定し、このサービスの要求を開始します。マッピング セクションで、カスタム管理パスを使用するサイト コレクションを複数選択します。これらのサイト コレクションを、SharePoint Online に移行する要求を送信します。要求の承認後、エラー タスクが生成され、「移行先サイト コレクションの作成に失敗しました」メッセージが表示されます。

**対処法:** コンテンツ移行サービスのマッピングを構成する際に、移行元ノードから管理パスを選択します。移行元カスタム管理パスが、選択された管理パスにマッピングされます。

- Google Chrome をブラウザとして使用し、ADFS 認証を使用して Governance Automation にアクセスを試行する際、ユーザー名とパスワードを入力し、**[ログイン]** をクリックしても、ログイン インターフェイスから画面が切り替わりません。これは、ブラウザに証明書エラーが発生し、送信リクエストが送信されなくなることに起因します。

**対処法:** 使用する環境で証明書の信頼を実行することにより、このエラーの発生は回避できます。

- Google Chrome を使用して Governance Automation Web パーツがインストールされた SharePoint サイトにアクセスすると、Web パーツが表示されません。これは、信頼できる証明書が適用されていないことに起因します。

**対処法:** Google Chrome で、**設定 > 詳細設定を表示 > HTTPS/SSL** の順番に進みます。**証明書の管理** をクリックします。**証明書** ウィンドウで **インポート** をクリックし、エクスポートされた証明書をインポートします。**信頼されたルート証明機関** に証明書を保存してください。Web パーツの設定を構成する際、Governance Automation の URL が `https://<ホスト名>:<ポート>` の形式になっていることを確認してください。

- 対応フォーム機能は、Internet Explorer 8 では使用することができません。
- コンテンツ移動サービスでセキュリティ トリミングがオンになっており、要求者が移動元サイトにアクセスする権限を持つものの、その中の移動元リストにアクセスする権限を持っていない場合、その移動元リスト



は要求が実行された段階で移動先のノードにコピーされます。セキュリティ チェックをアイテム レベルにまで適用すると、パフォーマンスに問題が生じます。

**対処法:** **コンテンツ移動** サービスで、**セキュリティをコピーする** を選択します。この操作により、移行元ユーザーの権限が移行先にコピーされ、要求者は移行先の子ノードに対する権限を持たないこととなります。

- 代替アクセス マッピング (AAM) URL は、サイト コレクションのコンテンツ移動サービス リクエストに対して無効です。これは、SharePoint Online の専用インスタンスが、代替アクセス マッピング URL のユーザー名とパスワードを取得できないためです。

**対処法:** 要求を送信する前に、DocAve のサイト コレクションの代替アクセス マッピング URL を登録してください。

- ライブラリ / リストを一括で要求する際、CSV ファイルに日本語でテンプレート名が入力され、その後 Governance Automation にインポートされると、Governance Automation のインターフェイスではインポートされたデータが表示されません。これは、CSV ファイルが ANSI を使用してエンコードされていることに起因します。

**対処法:** CSV をメモ帳で開き、エンコーディングを Unicode に設定して保存します。

- Internet Explorer を使用して Governance Automation Web パーツにアクセスするとエラーが発生する場合があります。

**対処法:** **インターネット オプション** > **セキュリティ** タブ > **信頼済みサイト** へ移動し、Governance Automation の URL を信頼済みサイトへ追加します。ポート番号の設定は不要です。。

## 通知

この発行に含まれている資料は AvePoint, Inc に所有または提供され、AvePoint およびそのライセンス提供会社のプロパティであり、著作権、登録商標ならびに他の知的所有権に関する法律によって保護されています。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

## 著作権

Copyright © 2015 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

## 登録商標

AvePoint<sup>®</sup>、DocAve<sup>®</sup>、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Office、Office 365、SharePoint、Windows PowerShell、SQL Server、Outlook、Windows Server、Active Directory、Dynamics CRM 2013 はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems、Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

## 変更

本書は情報の提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

AvePoint Japan 株式会社

〒 108-0074

東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階